

第9回 第9次豊田市総合計画（案）に関するアンケート

実施期間：9月2日（月）～9月11日（水）

回答者数：187人

【1】本市の総合計画を知っていますか？

名称も内容も知っている	13
名称だけは知っている	49
知らない	125

【2】本市において人口が減り始めていることを知っていましたか？

知っていた	72
知らなかった	115

【3】次期計画において注力する視点「『こども』起点でまちづくりを考える」に共感できますか？

共感できる	107
どちらかと言えば共感できる	76
どちらかと言えば共感できない	4
共感できない	0

「どちらかと言えば共感できない」と回答した理由

きれいな言葉だけで実態が見えてこない
極端に偏った考えは良くないと思うから
私は子ども会に所属しており、市子連総会で市長、議長の「こども会にも積極的に支援をしていく」旨の発言を聞いている。しかし彼らの言葉は式典のリップサービスのみで具体的に何も変わらない。市役所から何のアクションも無い。口先だけで「こども」「こども」と唱えているだけで豊田市は何も動かないままこのまま衰退していくのだと諦めている
人口分布のわずかな子供を注力にするべきなのか

【4】次期計画において注力する視点「誰もが『つながり合う』まちづくりを進める」に共感できますか？

共感できる	99
どちらかと言えば共感できる	85
どちらかと言えば共感できない	3
共感できない	0

「どちらかと言えば共感できない」と回答した理由

「全ての人がつながり合いの中で安心して暮らすことができる社会」をよく理解できない、または意味が良くわからない
つながりは必要だが机上の空論にしか読み取れない
無理して「繋がらなきゃいけない」という姿勢よりも、「繋がりたいと思っているけれどもどうしたらよいのか」と思っている方によりそえる内容であれば共感できる

【5】次期計画において注力する視点「人を支える『まちの基盤』をつくる」に共感できますか？

共感できる	100
どちらかと言えば共感できる	85
どちらかと言えば共感できない	2
共感できない	0

「どちらかと言えば共感できない」と回答した理由

「各地域が一定の自立をしながら連携していくこと」、「拠点連携型の都市構造の中で安全・安心なまちづくりを進め」などのフレーズは理解ができない。また、「豊かな自然環境を次世代につないでいく」などは計画にどう関連するのかよくわからない
現在の豊田市は、豊田市で育った子どもたちが成人して豊田市で就職を望んでも一般企業、市役所、その他団体で必ずしもそれがかなわない。豊田市出身者が豊田市で働ける環境の構築が必要だと思う

【6】「第9次豊田市総合計画（案）」についてご意見があればご記入ください。

自動車産業だけで活性化できなくなったときの為にも、第2、第3のモノづくりや町おこしの方法を考えなくてはいけないと思いました。

単純なことですが、「ミライ」と片仮名で表示する必要はないと思います。「ミイラ」を想起させるし非常に字面が悪い。普通に「未来」か「みらい」にできないものだろうかと思います。

・変化が激しい予測困難な社会の中での展開となるため、総合計画を「まちづくりの羅針盤」と位置付け、本市の目指す姿の実現に向けて、常に施策を見直し
・毎年度ローリングを行い、各施策の進捗状況や、社会経済情勢の変化を見極めながら、機動的かつ柔軟に対応
必要だと思えます。

『こども』起点、将来を担う世代との観点は分かりますが、少々唐突に感じました。
少子化の要因として、適齢期世代の経済的・精神的な基盤が厳しく、結婚や子供を産む事に踏み切れない現実を何とかしなければ、子育て支援以前の問題。

豊田市は人の出入りに関して自動車関連による影響が多いと思われる。この町で住み続けるとすると、自然・山や川などを重視している人にとっては良い点が多いと感じる人が多いと思うが、商業的な賑わいを感じたい人には不十分を感じるように思います。名古屋へのアクセス向上も必要と思いますが、ショッピングを楽しめるような点があると良いように感じます。

先日、生後2ヶ月の自分の子供の口腔内にお尻拭きを詰めて逮捕された男性がいました。
この子の母親はそのとき仕事に行っていたそうです。
この背景には、母親が生後わずか働きに行かなくてはならなかったと云うことがあります。
昭和の頃は父親が働き、母は専業主婦で生活が成り立っていましたが、ある政治家により雇用形態が変わり、非正規労働者が増えて景気も悪くなり、女性も働かなくては家族を養えなくなりました。女性が社会に出れば結婚はまだしも出産でキャリアを投げ出さねばならなかったり、産まなければ「なぜ産まない」と責められたり。
結婚しない・子供を持たないという多様性を尊重した事と、非正規雇用により不安定な収入しか得られない事で少子化になっている事を解決しない限りは綺麗事をいくら並べても意味がない。
非婚化と少子化による将来の不安、経済低迷と賃金低下による貧困化、あと最近豊田市にも増え続けている外国人移民による治安悪化。
私たちが直面している大問題から何とかして欲しい。

(今回の案に対する直接的な意見ではありませんが)
市民同士の繋がりを作るために市で様々なイベントを開催していることは存じています。しかし市民から積極的に情報収集しないといけないと感じています。
特に就職で豊田市に転入してきた若い人は広報誌は深く読んでないと思います。公式LINEやInstagramなどSNSを活用して若い世代でも情報が伝わるような取り組みをした方が良いかと思います。

ずっとここで暮らしていきたいと思える『まちづくり』に期待しています。

自動車産業で財政が豊かであるだけでなく、緑豊かで農業も盛んなある意味特異な都市というイメージでした。設問にあるように人口減少は意外でしたが、若い層と今まで豊田市を引っ張ってきたベテラン層といろいろな力を持っている市だと思うので、充実した成長を期待できると思います。

ラリー予算を子育て支援に。

自分が住んでいる地域は新しい住宅地が多く建っており近くの小学校は増築していると聞いているので、これから盛んになるんだろうなあと思っている。

しかし、近くに子どもが遊ぶ環境があまりないように思う。(子どもが行きたがる場所)

→市外に遊びに行く事が多い

人との関わりや繋がり大切だと思います。

・こども：私が子供の時とは大きく違ってきていると感じています。人数、取り巻く環境、求められるもの、期待されていること等。そのことを強く意識して危機感を持って取り組まれていると感じました。

・つながる：核家族が増え、隣り近所との付き合いがなくても普通に暮らしていける時代になり、危機感すら感じなくなっている人が増えていることを日々の暮らしの中で感じています。そこに切り込んでいくのは大切なことだと思っています。

・まちの基盤：豊田市に住みたい！と思ってもらえるまちづくりも大切ですが、今住んでいる人が幸せを感じられるまちづくりも大切だと思っています。他の市で生活したい、ではなく、豊田市でよかった！と思えるまちづくりを期待しているので。

子ども達の未来を守ってあげたい。子どもが少ない時代に子どもを守れない大人がいて悲しいニュースが毎日聞こえてくる。せっかく生まれてきた命を大切に守ってあげたい。未来を生きる人がいなくなってしまうそう。

豊田市は様々な産業を地域ごとに活かして生活していると思います。地域の特性を生かしたまちづくりは必要だと思います。

総合計画を見たが方向性は見えただけで具体例があるとわかりやすい。(今の段階では難しいのはわかりません。)

クルマやカーボンニュートラルがキーになっていて、現在豊田市とトヨタが深いつながりになっていることは明確だけれども、トヨタもいつまでもクルマのメーカーではないかもしれないし、もしかしたら何かでこけてしまうかもしれないので、新たな産業を応援してくれる豊田市であって欲しいと思う。

こどもたちの体験や繋がりを増やすことは大賛成です！今でも自然観察の森や鞍ヶ池などを活用していますが、豊田の持つ広大な森林もより近くに感じられるようになってほしい。

70ページもある計画を読んで意見するのは難しい。

子育て世代を大切にするのはいいけれど、その世代は、それを当たり前と思って、謙虚さを忘れがちなのが残念。

子育て世代は、市外の大型モールなどで買い物をしていると思う。

レジャーもしかり。

そんなことで豊田市が潤っていくとは思えない。

夏休みに旭地区に出かけることができましたが、市街地からは本当に距離があって、豊田市が広域にわたることを実感しました。

計画にある「各地域が一定の自立をしながら連携していくこと」をより実現できるように、各地域の特性を活かしながら、それぞれの地域に向いて子どもが体験する機会が増えたら嬉しいです。

大事でかなり難しい内容ではあるが一步一步確実に進めて頂きたい。

子どもやその保護者が住みやすいまちづくりを目指すというのはいいと思います。そこで感じるのは、乳幼児の遊び場が充実していないことです。豊田の支援センターのおもちゃのクオリティは低いし、量も足りていません。地域文化広場も暗い雰囲気です。鞍ヶ池公園は駐車場が不便です。博物館にも、もっと遊び場が作れると思います。

実態を把握していただき、これらの改善をよろしくお願いします。

出生率の低下(約1%/年)、高齢者の増加、外国人の増加が予測されており、市がこれまでと同じことをしてはどんどん衰退していくことが目に見えていると思いました。計画案の中で特に視点1「こども」起点でまちづくりを考えるという点に共感しました。こどもたちが住みたいと思える街づくりを行い、若者たちがつながることで豊田市に集まってくると活気が出てくるのではないかと思います。魅力的な街づくりをよろしくお願いします。

私の勝手な案ですが若者のクルマ離れが加速的に進んでいる原因には事故を避けることや維持費の増加があると思います。クルマは安全性が高まってきているので、若者限定で自動車関係の税金や保険料を豊田市が補助してもらえるといいなと思います。それでこそクルマの街だなと思います。よろしくお願いします。

計画通りにいかなかった場合の対案は欲しいところ。

豊田市で人口が、減り始めている原因は行政サービスや店舗に魅力がないからではないでしょうか。市民が減ると公共交通機関や高齢者を支えるサービス低下に繋がり、それを見た現役世代、子どもは市外に転出と悪循環になりそうで心配です。ラリーや駅前開発が市民のニーズに合っているのか検討して欲しいです。

市民の声を聴いて計画を立ててほしい。実際に生活のしづらさを感じている人の声を取り入れて実現させていかないと変わらない。他市町村の良いところを参考にするのも良いと思う。

当市においても人口が減少している。

これからの時代を元気ある街にするためには人口減少を止める政策が必要と考えます。

その為には豊田市を魅力ある街にし、また政策として子供を産みやすい状況を作るべきだと思います。

また過疎地から市街地への人口移動を避ける政策も必要ではないかと思えます。

今年のお盆の期間、車も人も以前と比べて多くなったと思いました。街中も施設なども賑わってはいないけれどお盆や年末年始には豊田市は閑散としていたのに人出がありました。私の友人はほとんど地方出身ですが代替わりし、豊田市を実家とする人が増えてきているのかもしれないと思います。私の子ども年代の職業観や家族観は私たちのものとは異なっていると感じるし、新しい年代の家族像に合う計画であるといいと思います。

市役所の性格上、有識者で会議し方針を決定してからしか動けないのはわかるが、もっと現場の声を聴かないと良い結果は得られないように思う。

豊田市は、給食費や医療費、施設利用料も無償化されており、とても子育てしやすい環境だと思います。子ども達向けのイベントも沢山あり、本当に有難いです。

ただ単に、土地の値段が高いので、転入が少ないのでは？と思います。

また、子育てしやすいように、乳児期の育児ノイローゼはとても辛いので、子供を少しの間預けれる場所や利用料金の助成。

また、学生達の施設訪問や職場体験の機会が豊富であったり、子供関連の臨床心理や教育心理学的な相談できる場があると、もっと良いなと思います。

他の市に比べて、予算もあり、土地もあるのに、駅付近の状況などをみると何かうまく回っていない（民間との連携が取れていない？）気がします。

いろいろな部署、団体を巻き込んで、豊田市全体として、どうあるべきかを考えたうえで、ブレずに計画を進めて行ってほしいです。

人々の縦横のつながりが大事であることを感じます。

こどもまん中社会、少子高齢化が進む中社会全体でこどもを育てるそれが当たり前の社会、視野になっていくこと。

誰もが大切にされている、皆支えられていると感じられる社会であれば子供たちが成長していくとき温かい気持ちで育まれ、安心な社会ができていくと思います。

小さく区切らずあらゆる垣根を越えて成長しあい、支えられたり支えたりできる世の中になっていけたらいいかなと思います。

人口減に対して、何の対策がするのかがわかりませんでした。

こども起点で街づくりを考えるのはとても良いことだと思うが実態はそうはなっていない。こども園ひとつとってみても大人視点（保育者視点）での運営となっているのが実情。全く新しい知識を得ていないベテラン保育者だったり目も合わせられないような保育者だったり、民間では考えられないような閉鎖的、成長のない環境に保育者たちはいる。もっと民間の力を活用することを真剣に考えて欲しい。公務員という閉鎖環境にいる成長しようとしめない人達は切り捨てて欲しい。

居住の緩やかな集積について、意図的に住居を集めるのであれば、持ち家売却や引越しに補助金が出たらいいなと思いました。

つながりあいを推している点に関して、最近我が家も発達支援施設を利用させてもらって少し恩恵を感じられています。

実感としては毎日忙しくてそんな事を考えていられないなと感じてしまいます。

子育ては想像以上に大変で土日休み無し状態で気が休まらないので。土日気軽に預けれる所が近くにあればそこで繋がりを感じつつ心の余裕も確保出来て良いのになと思いました

人口が減っていることは知らなかった。ITなどを活用したベンチャー企業の誘致など、働く場所がある街にすれば人口が増えてくるのではと思う。そのためには、住宅地などの開発が必要ではと思います。公共交通機関についても、利便性を高めてほしいと思います。

豊田市の人口が、減っている理由のひとつに土地の価値が、とても高い事が挙げられると思います。
豊田市ならではの魅力的な事があれば、他の地域に行かないで、豊田市に住んでいたいと思うようになるのではないのでしょうか？

具体的に何かとは、言えませんが、子どもから、年寄りに至るまで、何か嬉しい特典が有ると良い気がします。

共通の考え方として良いと思います。ただし、いかに当事者間に共通認識をはぐくむかが大切である。

高齢化、少子化で、お年寄りや子供に力を注ぐのも良いかとは思いますが、メインで支えているであろう多くの中間の年齢層への対応があまりに少ないと、親世代の幸福度が低く余裕もないため、せっかくの子供にも良い影響が与えられずに、それを見聞きして育つ子供は希望が持てず、未来に繋がりにくい気もしました。
また、核家族化で子供を産んでから、どこかに相談では大変で、対応が間に合わず思い悩んでしまう事が多いので、男女問わず産む前からの事前の育児の学びの場や知る機会がもっと身近にあると余裕を持って、よりよい子育てや家族を持つ事への前向きな気持ちに繋がるのではと感じました。

計画（理想、あるべき姿）についてはその通りだと思う。
具体的に何を実施するのかに興味がある。

人口減少については、日本全体がそうなので豊田市でもそうなっていても仕方ないと思う。地域での子育ては今後より多くの人に参加しやすくなるとよい。孫がいるからとか関係なく出来る人の協力が得られると良い。
人生100年時代と言われるが健康を維持できるか心配なので、多くの人意識を高めていけると良いと思う。

将来、そんな理想的な豊田市になったら素敵だと思います。

子どもだけでなくみんなが学び合い暮らせる街になって欲しい。

できるだけ多くの市民から意見を聞くためにも、交流館や大型スーパー、学校などに目安箱を設置したらどうか？

地域会議に於いても、よく議論されます。ミライ実現戦略2030 に期待をしています。私自身も協力できるものは、やります

とても大切なことだと共感できた。

環境変化に伴い人口減少の数値は驚きました。
こども達の声がどこからか聞こえて小さなつながりが大きな町で見守られている。
そこで大人たちが気づきあい楽しいまちづくりが出来ている関係が大切だと思います。
時代にあわせた無理な計画を進めるのではなく自然に流れた計画を進めて頂きたいです。

内容を知らないなので、勉強しておきます。

もっとわかりやすく具体的に広報してほしいです。

居住地などは震災リスクを考慮し、積極的に移住を進める。

山村地区に、たくさんの働く場があるといい。

若い家族を呼び込むために魅力的なスーパーの誘致や、名古屋への通勤時間を短縮する公共交通の整備の検討を望みます。

子供が増え、子供に明るい未来があるかは、老後の生活にも関わっていきます。
老後安心なら、子供を産んでも安心です。今の老人が、豊かな安心した生活にしてほしいです。おいでんバスの路線が増えたり、医療費の負担が減ったり、元気なら、働ける環境が増えたりを願います。

『こども起点』のまちづくりが少子高齢化の進んだ日本で重要だということは非常に共感ですが、その子供を産み育てるのは20代から40代の世代なので、まずはその世代が安心して子供を産み、育てられると思えるような社会を作っていただきたいです。今回のアンケートで初めて本計画のことを知りました。もっと具体的な施策に落とし込んだうえで、市民に本計画を周知していただきたいです。

各項目について、具体的な実現方法が不明。

防災も、市と市民が協力して行っていきたいと思います。

昨今、学校に行けない子供が増えていると感じます。
学校に行くだけが全てではないと思うので、子供たちが学校に行けなくなったときに受け入れてもらえる場所の提供や環境があると良いなと思います。

一般的な内容が計画されているように思えます。長文ですが中身がみえない。市民はじめ多くの関係者と連携して具体的に進めてください。

脱炭素に向けた考え方はどうなっていくのか？
車のEV化は、正しい選択なのか？
そもそも全ての車両をEV化するための資源やエネルギーはあるのでしょうか？

各コミュニティの代表者と意見交換をしながら、メリット・デメリットを把握しつつ、各月独自の問題点に向き合いながら提案解決の方向に進めてもらえば問題ないと思います。要は市民の意見を置き去りにせず、いろんなところに足を運んで意見の吸い上げをしていただきたいと思います。世の中多様性の時代です。個人のことばかり考えてもだめだし、子供のことばかり考えてもだめだし、主婦の事ばかり考えてもダメだと思います。なので、それぞれの立場の人の意見を自分に確認して非常に困難な企画になると思いますが、対策を進めていただけるとうれしいです。

計画案に従って具体的にどの様に運営していくか？大変ですが豊田市存続のために頑張りましょう。

税金が上がる一方で収入も減るから公団住宅が独身でも賃貸できればいいかと。

第9次だと、今まで1次～8次があったかと・・・全然、知らなくて、市民への情報発信が不十分ではないですか？

「誰もが『つながり合う』まちづくりを進める」というキャッチフレーズはアピール性が弱いので、企画部門の頑張りを期待します。

計画案を作成のためには、現状調査が大切です。どこまで調査できたのか、やや不安です。

将来像は、各世代、各業界など市民の意見を要約すれば、描けますが、現状調査が不十分だとギャップが定義できません。

問題点&対策案が不明確になります。

豊田市は、税収が多いのに、市民への恩恵・展開が他市に比べて不十分です。

市役所の職員の収入が他市に比べて多いとの報道を聞くと、それに相応の業務・工夫があれば納得ですが。

子育ても決して恵まれている環境ではありません。

計画案の策定に際して、豊田市には優秀な人材が多いのでは？現役を引退されている方でも知力・気力のある高齢者も多いので、その方々の活用を提案します。

それぞれの注力視点は納得できるが、ロールモデルがなく、具体的な理想像がイメージできない。

100%の人の意見に沿うような計画立案は無理かと思うが、将来を担う“こども”の意向に沿う地域社会を創り出すことは、今を生きる大人世代の責任だと思います。